

革新的がん医療実用化研究事業 課題一覧

2017年12月1日現在

研究開発課題名	所属研究機関	研究代表者名
(領域1) がんの本態解明に関する研究		
肺がん微小環境における免疫抑制ネットワーク機構の解明に基づく新規免疫療法の開発	国立研究開発法人国立がん研究センター	青木 一教
生理活性脂質リソホスファチジルセリンのがん免疫抑制作用の解明と創薬応用	国立大学法人東北大学	青木 淳賢
RNA絶対定量による微小環境解析に基づくびまん性大細胞型B細胞性リンパ腫の層別化および新規治療法の開発	国立大学法人九州大学	赤司 浩一
酵素活性プロテオミクスを用いた新規がん治療標的の探索と治療法開発	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所	足立 淳
スキルス胃がんにおける変異型RHOAに対する創薬ポイントの確立	国立大学法人東京大学	油谷 浩幸
マクロファージ由来タンパク質AIMIによるがん細胞の除去機構を利用した肝細胞がん治療法の開発	国立大学法人東京大学	新井 郷子
がん微小環境の分子基盤に基づいた革新的がん治療薬の開発	国立大学法人東京大学	大澤 毅
大腸がん細胞の多段階悪性化が制御する微小環境形成ネットワーク機構の解明と新規予防治療戦略の確立	国立大学法人金沢大学	大島 正伸
肥満誘導性肝がんの微小環境における脂質代謝物を標的とした治療戦略	大阪市立大学法人大阪市立大学	大谷 直子
がん微小環境における細胞間ネットワークの制御による新規がん予防・治療法の開発	大阪市立大学法人大阪市立大学	大谷 直子
骨髄異形成症候群(MDS)のオミックス解析による治療反応性および病型進展の新たなバイオマーカーの同定とその実用化に関する研究	国立大学法人京都大学	小川 誠司
MYCを制御し肺がんの生存・増殖を担うMYMLR lncRNAの機能解明と革新的分子標的薬の開発	国立大学法人名古屋大学	梶野 泰祐
PD-L1分子異常による、がん-免疫ネットワーク変容・破綻の分子基盤および臨床的特性の解明	国立研究開発法人国立がん研究センター	片岡 圭亮
環境がゲノムにもたらすエピゲノム修飾の理解に基づいた消化器癌本態解明とその領域特異的制御	国立大学法人千葉大学	金田 篤志
慢性リンパ球性白血病およびB細胞性リンパ腫におけるIRAK-M分子の機能解明および革新的標的治療法の確立	国立大学法人九州大学	菊繁 吉謙
急性骨髄性白血病におけるPDXモデルで意義づけられた分子層別化システムの確立と臨床的実効性と有用性の検証	国立大学法人名古屋大学	清井 仁
がん特異的抗原の効率的な同定とそれらを標的とした免疫治療戦略の開発	公益財団法人 がん研究会	清谷 一馬
革新的がん遺伝子機能解析法によるプレジジョンメディシンの実現	国立大学法人東京大学	高阪 真路
ゲノム診療体制の構築を目指したAYA世代がんのリスク要因・治療標的の同定と検査系の開発	国立研究開発法人国立がん研究センター	河野 隆志
がん悪性化に寄与する細胞外小胞顆粒の分泌制御因子を標的とした治療薬の開発	国立研究開発法人国立がん研究センター	小坂 展慶
女性難治がんのPDXモデルを用いたがん微小環境を標的とした革新的診断治療法の構築	国立大学法人金沢大学	後藤 典子
がん免疫療法との併用による分子標的薬の治療抵抗性の克服	京都府立大学法人 京都府立医科大学	酒井 敏行
血管免疫芽球性T細胞リンパ腫における多段階的ゲノム異常を有する腫瘍細胞と微小環境細胞の分子基盤と臨床的特性の解明	国立大学法人筑波大学	坂田 麻実子
難治性がんにおけるペプチドミクス解析によるネオアンチゲン同定法の確立と個別化がん免疫療法への応用	地方独立行政法人神奈川県立病院機構 神奈川県立がんセンター	笹田 哲朗
ゲノム情報と薬剤感受性予測に基づく、小児血液腫瘍における最適医療の実現に向けた研究	独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター	真田 昌
国際共同研究に資する日本人難治性がん・生活習慣病関連がん大規模統合ゲノミクス解析と国際コンソーシアムでのデータ共有による国際貢献	国立研究開発法人国立がん研究センター	柴田 龍弘
成人T細胞白血病・リンパ腫(ATL)最適化医療の確立とハイリスクキャリアの同定	国立大学法人宮崎大学	下田 和哉
IL-34を基軸としたがん微小環境分子基盤の理解とその臨床的特性に基づいた新しい治療法の開発	国立大学法人北海道大学	清野 研一郎
マウスモデルと臨床材料を用いた消化器がん転移の研究	国立大学法人京都大学	武藤 誠
がん患者血清を用いた自己抗体プロファイリングによる診断マーカーの探索	国立大学法人東京大学	谷川 千津
がん幹細胞維持機構を破綻させる治療法の開発	地方独立行政法人宮城県立病院機構宮城県立がんセンター	玉井 恵一

進行肺がん大規模クリニカルシーケンスデータを用いた個別化治療法の開発	国立研究開発法人国立がん研究センター	土原 一哉
環境要因による発がん機構の解明と予防法の確立	国立研究開発法人国立がん研究センター	戸塚 ゆかり
がんリン酸化シグナル伝達因子の活性定量に基づく新次元薬効予測診断システムの開発	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所	朝長 毅
がんゲノム個別化医療の実現に向けた遺伝子診断共通カリキュラム構築と教育・研修プログラムの実証的開発研究	学校法人近畿大学	西尾 和人
T細胞応答の多様性回復によるがん免疫併用療法の開発	国立研究開発法人国立がん研究センター	西川 博嘉
Fusobacterium nucleatumに注目した大腸癌の新規スクリーニングと予防法の開発	公立大学法人横浜市立大学	日暮 琢磨
急性型およびリンパ腫型成人T細胞白血病のゲノム解析とバイオマーカーに基づいた造血幹細胞移植の最適化に関する研究	国立研究開発法人国立がん研究センター	福田 隆浩
膵臓がんの治療抵抗性を規定する因子の探索と根治を目指した新規治療法の開発	国立大学法人北海道大学	藤田 恭之
腫瘍血管ダイナミクスの解明と個別化医療を目指した革新的医療の開発	国立大学法人北海道大学	間石 奈湖
悪性黒色腫局所の微小免疫環境の本態解明に基づく革新的がん免疫療法の開発	国立研究開発法人国立がん研究センター	前田 優香
AYA 世代急性リンパ性白血病の発症機構解明と治療標的の同定	国立大学法人東京大学	間野 博行
同所性移植で得られたヒト膵臓がん細胞由来の治療標的分子に関する研究	国立大学法人東京大学	宮園 浩平
合成致死表現型を指標とした新規悪性中皮腫治療薬標的の探索	愛知県がんセンター	村上 優子
がん薬物療法におけるexceptional responseをもたらす遺伝子異常の研究と治療開発	国立研究開発法人国立がん研究センター	山本 昇
産学連携全国がんゲノムスクリーニング事業SCRUM-Japanで組織した遺伝子スクリーニング基盤を利用した、多施設多職種専門家から構成されたExpert Panelによる全国共通遺伝子解析・診断システムの構築および研修プログラムの開発	国立研究開発法人国立がん研究センター	吉野 孝之
(領域2) がんの予防法や早期発見手法に関する研究		
子宮頸がん検診における細胞診とHPV検査併用の有用性に関する研究	学校法人慶應義塾 慶應義塾大学	青木 大輔
がん化学予防薬の実用化をめざした大規模臨床研究	京都府公立大学法人 京都府立医科大学	石川 秀樹
中高年者におけるヘリコバクター・ピロリ菌除菌の胃がん予防効果を評価するための長期追跡研究	国立研究開発法人国立がん研究センター	井上 真奈美
統合された科学的根拠に基づく日本人のためのがんリスク評価モデルの開発とその革新的改善に資する疫学研究の推進	国立研究開発法人国立がん研究センター	岩崎 基
ピロリ菌除菌後健康人を対象とした世界初エピゲノム発がんリスク診断の実用化	国立研究開発法人国立がん研究センター	牛島 俊和
HPVワクチンの有効性の評価のための大規模疫学研究	国立大学法人新潟大学	榎本 隆之
超音波検査による乳がん検診の有効性を検証する比較試験	国立大学法人東北大学	大内 憲明
ゲノム・エピゲノム解析による子宮頸癌前駆病変(CIN)患者の子宮頸癌発癌リスクの特定とそれに基づくCIN患者の個別化リスク低減法に関する研究	学校法人日本大学	川名 敬
対策型検診を目指した大腸内視鏡検診の有効性評価のためのランダム化比較試験	学校法人昭和大学	工藤 進英
がんと糖尿病:両者を繋ぐメカニズム、糖尿病併存がん患者の実態に関する包括的な疫学研究	国立研究開発法人国立がん研究センター	後藤 温
低線量CTによる肺がん検診の実用化を目指した無作為化比較試験および大規模コホート研究	学校法人東北医科薬科大学	佐川 元保
個人のがんリスクに応じて開発された個別化予防のための累積リスク予測ツールの評価に関する介入研究	国立研究開発法人国立がん研究センター	笹月 静
医療ビッグデータを用いた緩和医療の質評価および臨床課題の疫学調査方法の開発と測定	国立大学法人名古屋大学	佐藤 一樹
人工知能技術を用いた大腸内視鏡検査における病変検出・診断支援技術の開発	学校法人慈恵大学 慈恵医科大学	炭山 和毅
独創的な尿中蛋白質断片解析法により同定した高感度の早期肺癌・膵臓癌診断マーカーの検診への導入を目指した多施設検証と企業化の実現	国立大学法人宮崎大学	中里 雅光
個別リスクに基づく適切な胃がん検診提供体制構築に関する研究	公益財団法人宮城県対がん協会	深尾 彰
血液バイオマーカーを用いた効率的な膵臓がん検診の実用化	国立研究開発法人国立がん研究センター	本田 一文
個人の生活習慣等の環境要因と遺伝的リスクを考慮した科学的根拠に基づく効率的な乳がん予防法の開発研究	愛知県がんセンター	松尾 恵太郎

大腸がん超高危険度群におけるがんリスク低減手法の最適化に関する研究	国立研究開発法人国立がん研究センター	武藤 倫弘
最新の高感度変異解析技術を用いた「胃カメラしながら膵がん検診」の開発	国立研究開発法人国立がん研究センター	谷内田 真一
多施設共同遺伝性腫瘍「汎用プロトコール」の臨床疫学的データに基づく、ゲノム情報で規定される超高リスク群捕捉法の確立	国立研究開発法人国立がん研究センター	吉田 輝彦
生活習慣・病態・遺伝的多型に基づく、個人のがんリスク評価:大規模ゲノムコホート研究データの解析	国立大学法人名古屋大学	若井 建志
(領域3) アンメットメディカルニーズに応える新規薬剤開発に関する研究		
NY-ESO-1抗原特異的TCR遺伝子導入Tリンパ球輸注による同種移植後再発難治性成人T細胞白血病リンパ腫を対象とした多施設共同臨床第I相医師主導治験	国立大学法人長崎大学	池田 裕明
安全なゲノム編集システムの開発とがん免疫療法への応用	国立研究開発法人国立国際医療研究センター	石坂 幸人
TERTを標的とした新規阻害剤の悪性脳腫瘍に対する臨床応用を目指した研究	国立研究開発法人国立がん研究センター	市村 幸一
難治急性リンパ性白血病に対するボルテゾミブ追加多剤併用療法の国内導入(医師主導治験)	国立研究開発法人国立がん研究センター	小川 千登世
クロマチンリモデリング遺伝子欠損がんにおける代謝経路を標的とした合成致死治療法の開発	国立研究開発法人国立がん研究センター	荻原 秀明
遺伝子組換え麻疹ウイルスを用いた癌治療法の開発	国立大学法人東京大学	甲斐 知恵子
CHP/NY-ESO-1ポリペプチドがんワクチンの術後食道癌症例を対象とした多施設共同前期第II相臨床試験	国立大学法人三重大学	影山 慎一
難治性肉腫に対するワクチン併用TCR遺伝子改変T細胞輸注療法の多施設共同医師主導治験	国立大学法人三重大学	影山 慎一
iPS細胞に由来するキメラ抗原受容体(CAR)発現再生T細胞の非臨床試験	国立大学法人京都大学	金子 新
肉腫への革新的医薬実用化を目指した独自開発の増殖制御型アデノウイルスの医師主導治験	国立大学法人鹿児島大学	小茂 健一郎
Epstein-BarrウイルスによるT/NK白血病・リンパ腫治療薬候補S-FMAUの前臨床試験	国立大学法人東北大学	児玉 栄一
RET融合遺伝子陽性の進行非小細胞肺癌に対する新規治療法の確立に関する研究	国立研究開発法人国立がん研究センター	後藤 功一
希少遺伝子変異を有する小細胞肺癌に対する新規治療法の確立に関する研究	国立研究開発法人国立がん研究センター	後藤 功一
低酸素誘導転写因子が活性化した悪性がんの根治に向けた新薬開発	国立大学法人東京工業大学	近藤 科江
miRNA制御Crispr/Cas9発現依存的にがん幹細胞機能因子群をゲノム編集する新規がん治療用ベクターの開発	国立大学法人北海道大学	近藤 亨
癌関連遺伝子の発現を多重制御するエピゲノム編集ベクターの開発と応用	国立大学法人広島大学	佐久間 哲史
ゲノム等のバイオマーカー情報に基づく希少がん・希少フラクション領域の臨床開発を促進するための基盤整備研究	国立研究開発法人国立がん研究センター	佐藤 暁洋
DDS技術に基づくPEG化スルファサラジンを用いたがん幹細胞標的治療の開発	学校法人慶應義塾 慶應義塾大学	佐谷 秀行
Precision Medicine 時代を切り拓く11C標識メチオニンの脳腫瘍診断に関する研究-薬剤自動合成装置の医療機器承認取得を目指して-	国立大学法人北海道大学	志賀 哲
ゲノム編集効率向上のための細胞環境とゲノム編集ベクター改良のトータルパッケージ開発	学校法人近畿大学	篠原 美紀
成人T細胞白血病に対するHTLV-1ウイルス標的樹状細胞ワクチン療法の確立および製品化技術開発	独立行政法人国立病院機構 九州がんセンター	末廣 陽子
非小細胞肺癌の根治に向けた術後補助化学療法後の新規ペプチドワクチン維持療法の開発研究	国立大学法人東京大学	醍醐 弥太郎
小児急性リンパ性白血病に対する非ウイルスベクターを用いたキメラ抗原受容体T細胞療法の実用化	国立大学法人名古屋大学	高橋 義行
がん認識抗体と遺伝子導入T細胞による難治性B細胞性悪性リンパ腫を対象とした第I相医師主導臨床試験	国立大学法人山口大学	玉田 耕治
革新的抗がんウイルス療法の実用化臨床研究	国立大学法人東京大学	藤堂 具紀
再発又は難治性のALK陽性ALCLに対するアレクシニブ塩酸塩の開発	独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター	永井 宏和
CD116陽性骨髄系腫瘍を標的とした非ウイルス遺伝子改変キメラ抗原受容体T細胞の非臨床試験	国立大学法人信州大学	中沢 洋三
KRAS遺伝子変異標的新規抗癌化合物KR12の開発研究	千葉県がんセンター	永瀬 浩喜
ステルス型RNAベクターを利用したAll-in-One型ゲノム編集ツールの開発	国立研究開発法人産業技術総合研究所	中西 真人

TERTを標的とした再発膠芽腫に対するエリブリンの医師主導治験	国立研究開発法人国立がん研究センター	成田 善孝
難治性神経芽腫に対するIL2、CSF併用ch14.18免疫療法の国内臨床開発	地方独立行政法人大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センター	原 純一
難治がん・希少がんに対するp53抑制遺伝子搭載武装化ウイルス製剤の実用化のための非臨床試験	国立大学法人岡山大学	藤原 俊義
新規多発性骨髄腫特異的抗原を標的としたCAR-T細胞療法の開発	国立大学法人大阪大学	保仙 直毅
胸腺癌、胸腺腫に対する抗PD-1抗体ニボルマブ適応拡大のための研究	国立研究開発法人国立がん研究センター	堀之内 秀仁
PARG-poly(ADP-ribose)集積を標的とする新規抗がん剤の開発研究	国立大学法人長崎大学	益谷 美都子
自己ゲノム編集機構を利用した安全性の高いゲノムデザイン技術の開発	国立研究開発法人産業技術総合研究所	間世田 英明
がん会合性マクロファージ制御フロント阻害薬の臨床開発研究	国立大学法人東京大学	松島 綱治
進行・再発固形がん患者を対象としたヒト型化抗CD4抗体 IT1208の第I相医師主導臨床治験	国立大学法人東京大学	松島 綱治
トリプルネガティブ乳がんの転移後増殖をターゲットとした新規抗がん剤の開発	国立大学法人九州大学	三森 功士
慢性骨髄性白血病に対する根治薬の臨床開発研究	国立大学法人東北大学	宮田 敏男
難治性消化器がんに対する核酸医療の臨床への展開	国立大学法人大阪大学	森 正樹
RET融合遺伝子陽性肺癌に対するアレクチニブの有効性を明らかにする研究	国立大学法人金沢大学	矢野 聖二
BIM遺伝子多型に起因するEGFR変異肺癌のEGFR阻害薬耐性をポリノスタット併用で克服する研究	国立大学法人金沢大学	矢野 聖二
がん幹細胞の遺伝子転写を標的とした新規分子標的治療薬の開発	国立研究開発法人国立がん研究センター	山田 哲司
遺伝子スクリーニング基盤(LC-SCRUM-Japan)を利用した、MET遺伝子異常陽性の進行非小細胞肺癌に対する治療開発を目指した研究	国立研究開発法人国立がん研究センター	葉 清隆
日本発放射性薬剤 ⁶⁴ Cu-ATSMによる悪性脳腫瘍の革新的治療法開発—非臨床毒性試験・次相に向けた薬剤製造体制強化	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構	吉井 幸恵
がん免疫療法における抗CCR4抗体によるTreg除去療法 —抗体単独療法から複合免疫療法への医師主導治験—	国立大学法人大阪大学	和田 尚
(領域4) 患者に優しい新規医療技術開発に関する研究		
切除可能肝細胞癌に対する陽子線治療と外科的切除の非ランダム化比較同時対照試験	国立研究開発法人国立がん研究センター	秋元 哲夫
頭頸部扁平上皮癌に対する強度変調陽子線治療の実用化に向けた技術開発と有効性検証	国立研究開発法人国立がん研究センター	秋元 哲夫
早期胃癌に対する画期的な個別的・超低侵襲手術法の開発と検証	学校法人慶應義塾 慶應義塾大学	北川 雄光
悪性神経内分泌腫瘍に対する ¹³¹ I-MIBG内照射療法の開発	国立大学法人金沢大学	絹谷 清剛
非小細胞肺癌の転移活性を評価し、術後補助化学療法の効果を予測するバイオマーカーの実用化に関する研究	学校法人日本医科大学	久保田 馨
がんの早期発見と適格治療の早期診断に資するPETイメージングの開発	国立研究開発法人国立がん研究センター	栗原 宏明
新たな根治的粒子線治療を実現する吸収性スパーサーの適応拡大と実用化研究	国立大学法人神戸大学	佐々木 良平
がん診断から治療への効率的ワークフロー構築のための核医学分子イメージング法を用いる高度画像診断システムの確立	国立大学法人京都大学	佐治 英郎
画像解析による肺マッピングを利用した革新的超低侵襲肺がん手術治療法の創成	国立大学法人東京大学	佐藤 雅昭
蛍光分子イメージングにより実現する革新的がん可視化画像診断技術の開発	国立大学法人宮崎大学	徐 岩
リアルタイム組織イメージングが可能な共焦点レーザー顕微内視鏡を用いたオプティカルバイオプシーの臨床応用と適応拡大	国立研究開発法人国立がん研究センター	高丸 博之
光子線を用いた放射線療法のすべての治療装置に対応した患者個々の治療の品質保証法の確立	国立研究開発法人国立がん研究センター	橘 英伸
早期非小細胞肺癌に対する体幹部定位放射線治療線量増加ランダム化比較試験	国立大学法人広島大学	永田 靖
Dynamic WaveArc照射技法を用いた革新的放射線治療法の確立	国立大学法人京都大学	溝脇 尚志
難治がんに対する動体追尾放射線治療の臨床評価に関する研究	国立大学法人京都大学	溝脇 尚志

難治性食道がんの治療方針決定に資する技術開発に関する研究	国立大学法人京都大学	武藤 学
先天性巨大色素性母斑を母地とした悪性黒色腫に対する予防的低侵襲治療方法の開発～First-in-man臨床研究から先進医療へ	学校法人関西医科大学	森本 尚樹
(領域5) 新たな標準治療を創るための研究		
乳がん患者の再発不安・恐怖に対するスマートフォン問題解決療法および行動活性化療法の有効性:無作為割付比較試験	公立大学法人名古屋市立大学	明智 龍男
シスプラチンを含む高度催吐性化学療法による化学療法誘発性悪心・嘔吐の予防に対する標準制吐療法+オランザピンの有効性と安全性を比較する二重盲検プラセボ対照第3相ランダム化比較試験	静岡県立静岡がんセンター	安部 正和
トレーサビリティの確保された線源と画像誘導を利用した高線量率小線源治療の標準化と高度化の研究	国立研究開発法人国立がん研究センター	伊丹 純
切除不能進行・再発胃がんに対する個別化治療と最適化標準治療に関する研究	国立研究開発法人国立がん研究センター	岩佐 悟
臨床病期 I / II 期非小細胞肺癌におけるリンパ節郭清の縮小化の治的意義を検証するランダム化比較試験	国立大学法人広島大学	岡田 守人
がん治療中のせん妄の発症予防を目指した多職種せん妄プログラムの開発	国立研究開発法人国立がん研究センター	小川 朝生
早期子宮頸がんに対する機能温存低侵襲手術の確立に関する研究	東京都立墨東病院	笠松 高弘
患者のQOL向上をめざした胃がんに対する低侵襲標準治療確立に関する多施設共同試験	国立研究開発法人国立がん研究センター	片井 均
局所進行食道癌に対して、治療の有効性向上を目指した新しい術前治療を確立する研究	国立研究開発法人国立がん研究センター	加藤 健
臨床病期I/II/III食道癌(T4を除く)に対する胸腔鏡下手術と開胸手術のランダム化比較第III相試験	学校法人慶應義塾 慶應義塾大学	北川 雄光
標準的乳がんラジオ波熱焼灼療法確立のための多施設共同臨床研究	国立研究開発法人国立がん研究センター	木下 貴之
乳房再建におけるアウトカム指標の確立と科学的根拠に基づいた患者意思決定支援	国立大学法人岡山大学	木股 敬裕
局所限局性前立腺癌中リスク症例に対する陽子線治療の多施設共同臨床試験	国立大学法人筑波大学	櫻井 英幸
上皮性卵巣癌の妊孕性温存治療の対象拡大のための非ランダム化検証的試験	国立大学法人筑波大学	佐藤 豊実
StageIV 乳癌に対する予後の改善を目指した標準治療の確立に関する研究	国立大学法人岡山大学	枝園 忠彦
化学療法にて消失した大腸癌肝転移病変の、DW-MRI を用いた術前診断能の妥当性に関する研究 Diffusion-Weighted Magnetic REsonance Imaging Assessment of Liver Metastasis to Improve Surgical Planning (DREAM)	地方独立行政法人神奈川県立病院機構 神奈川県立がんセンター	塩澤 学
根治が見込める癌に対する外科侵襲の軽減とQOL改善を目指した標準治療法確立のための多施設共同第三相試験	国立研究開発法人国立がん研究センター	島田 和明
大腸癌肝転移切除例に適した新規抗がん剤を用いた術後補助化学療法の研究	愛知県がんセンター	清水 泰博
支持/緩和治療領域研究の方法論確立に関する研究	国立研究開発法人国立がん研究センター	全田 貞幹
悪性腫瘍に伴う悪液質の標準治療の確立	京都府立大学法人 京都府立医科大学	高山 浩一
進行頭頸部がんに対する術後補助療法の標準治療確立のための多施設共同研究	国立研究開発法人国立がん研究センター	田原 信
外来がんリハビリテーションプログラムの開発に関する研究	学校法人慶應義塾 慶應義塾大学	辻 哲也
切除不能または再発食道癌に対するCF(シスプラチン+5-FU)療法とbDCF(biweeklyドセタキセル+CF)療法のランダム化第III相比較試験	静岡県立静岡がんセンター	坪佐 恭宏
局所進行胃癌に対する術前化学療法の有効性を検証する臨床第III相試験	静岡県立静岡がんセンター	寺島 雅典
高度リンパ節転移を有するHER2陽性胃癌に対する術前trastuzumab併用化学療法の意義に関する臨床試験	静岡県立静岡がんセンター	寺島 雅典
局所進行非扁平上皮非小細胞肺癌に対するシスプラチン+S-1同時胸部放射線治療とシスプラチン+ペトレキセド同時胸部放射線治療の無作為化第II相試験	国立研究開発法人国立がん研究センター	仁保 誠治
分子標的治療薬によるざ瘡様皮膚炎に対する標準的ケア方法の確立に関する研究	国立研究開発法人国立がん研究センター	野澤 桂子
Stage III治癒切除大腸癌に対する術後補助療法としてのアスピリンの有用性を検証する二重盲検ランダム化比較試験	国立研究開発法人国立がん研究センター	濱口 哲弥
急速進行性がん患者・家族と医師の共感的コミュニケーション促進のための統合支援プログラムの有効性を検証する無作為化比較試験	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター	藤森 麻衣子
新規抗がん剤のPK/PD/PGxに基づく適正使用と安全性確保に関する研究	国立研究開発法人国立がん研究センター	藤原 康弘
がん患者の難治性神経障害性疼痛へのエビデンスに基づく標準的薬物療法の開発	学校法人近畿大学	松岡 弘道

テロシキナーゼ阻害薬による慢性骨髄性白血病の治癒を目指した研究	学校法人近畿大学	松村 到
進行がん患者に対するスクリーニングを組み合わせた看護師主導による治療早期からの専門的緩和ケア介入プログラムの臨床的有用性を検証する無作為化比較試験	国立研究開発法人国立がん研究センター	松本 禎久
進行がん患者のがん関連倦怠感に対するステロイド治療の標準プロトコルの確立のための無作為化比較試験	国立研究開発法人国立がん研究センター	三浦 智史
胃癌補助化学療法の期間短縮を目指した非劣性ランダム化比較第三相試験	地方独立行政法人神奈川県立病院機構 神奈川	吉川 貴己
非浸潤または小型非小細胞肺癌に対する機能温存手術の確立に関する研究	国立研究開発法人国立がん研究センター	渡辺 俊一
リンパ節転移リスクを有する子宮体癌に対する標準的リンパ節郭清確立のための多施設共同臨床試験	国立大学法人北海道大学	渡利 英道
(領域6) ライフステージやがんの特性に着目した重点研究 (小児がんに関する研究、高齢者のがんに関する研究、難治性がんに関する研究、希少がん等に関する研究)		
高悪性度神経内分泌肺癌切除例に対する術後補助化学療法の標準治療確立のための研究	学校法人慶應義塾 慶應義塾大学	浅村 尚生
小児骨髄系腫瘍に対する標準的治療法の確立	国立大学法人京都大学	足立 壮一
未治療低腫瘍量進行期濾胞性リンパ腫に対するリツキシマブ早期介入に関するランダム化比較第Ⅲ相試験: JCOG1411	国立大学法人山形大学	石澤 賢一
側方骨盤リンパ節転移陽性の難治性下部直腸癌の予後改善を目指した治療法に関する研究	国立研究開発法人国立がん研究センター	岩佐 悟
EGFR遺伝子変異陽性進行非扁平上皮非小細胞肺癌に対するゲフィチニブ単剤治療とゲフィチニブにシスプラチン+ペメトレキセドを途中挿入する治療とのランダム化比較試験(JCOG1404/WJOG8214L:AGAIN)	国立研究開発法人国立がん研究センター	大江 裕一郎
生殖機能温存がん治療法の革新的発展にむけた総合的プラットフォームの形成	国立大学法人東京大学	大須賀 穰
高齢者進行非扁平上皮非小細胞肺癌に対する標準的治療法の確立に関する研究	国立大学法人九州大学	岡本 勇
高齢者の小細胞肺癌に対する新たな標準的治療の確立に関する研究	横浜市立市民病院	岡本 浩明
アジア国際共同臨床試験を通じたDS-ALLにおける標準治療の開発	国立大学法人鹿児島大学	岡本 康裕
認知症合併に対応した最適の治療選択と安全性の向上を目指した支援プログラムの開発	国立研究開発法人国立がん研究センター	小川 朝生
胆道がんに対する治療法の確立に関する研究	国立研究開発法人国立がん研究センター	奥坂 拓志
高悪性度骨軟部腫瘍に対する標準治療確立のための研究	国立大学法人岡山大学	尾崎 敏文
甲状腺未分化癌の標準的治療法の開発に向けた全国的組織を用いた医師主導臨床試験の企画	公立大学法人大阪市立大学	小野田 尚佳
小腸腺癌に対する標準治療の確立に関する研究	国立研究開発法人国立がん研究センター	金光 幸秀
進行期悪性黒色腫(末端黒子型)に対する非骨髄破壊の前処置併用での腫瘍浸潤リンパ球輸注療法の安全性試験	学校法人慶應義塾 慶應義塾大学	河上 裕
小児再発・難治性白血病に対する低用量抗胸腺細胞免疫グロブリンを用いたT細胞充満HLAハプロ移植の多施設共同非盲検無対照試験	公立大学法人福島県立医科大学	菊田 敦
標準治療開発を前提とした小児腎腫瘍に対する新規リスク分類確立のための国際共同臨床研究プロトコル作成	日本大学医学部	越永 従道
小児リンパ腫の標準的治療法確立のための研究	社会医療法人北楡会 札幌北楡病院	小林 良二
眼部腫瘍の全国症例登録システムの構築に関する研究	国立研究開発法人国立がん研究センター	鈴木 茂伸
Borderline resectable膵癌の集学的治療法確立に関する多施設共同研究	国立研究開発法人国立がん研究センター	高橋 進一郎
臨床試験と全国患者実態把握によるindolent ATLに対する標準治療の開発研究	学校法人埼玉医科大学	塚崎 邦弘
Interim PETIに基づく初発進行期ホジキンリンパ腫に対するABVD療法およびABVD/増量 BEACOPP療法の非ランダム化検証的試験: JCOG1305試験	独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター	永井 宏和
高度腹膜転移胃癌に対する標準化学療法の確立に関する研究	学校法人聖マリアンナ医科大学	中島 貴子
再発膵芽腫に対するテモゾロミド用量強化法を用いた標準治療確立に関する研究	学校法人杏林学園 杏林大学	永根 基雄
皮膚悪性黒色腫に対するインターフェロンβ局所注射による術後補助療法の開発に関する研究(JCOG1309)	国立研究開発法人国立がん研究センター	並川 健二郎
予後不良の神経膠腫に対する標準治療の確立と希少癌組織のバイオバンクを目的とした多施設共同研究	国立研究開発法人国立がん研究センター	成田 善孝

TP53遺伝子変異陽性骨髄異形成症候群に対する新規治療戦略	国立大学法人京都大学	南谷 泰仁
中枢神経系原発悪性リンパ腫に対するテムゾロミドを用いた標準治療確立に関する研究	学校法人埼玉医科大学	西川 亮
頭頸部癌全国症例登録システムの構築と臓器温存治療のエビデンス創出	国立大学法人神戸大学	丹生 健一
悪性胸膜中皮腫に対する血管新生阻害剤の効果予測モデル構築に基づく新治療法確立に関する研究	国立大学法人名古屋大学	長谷川 好規
超高齢者社会における治療困難な高齢切除不能進行再発大腸癌患者に対する標準治療確立のための研究	国立研究開発法人国立がん研究センター	濱口 哲弥
AYA世代急性リンパ性白血病の小児型治療法および遺伝子パネル診断による層別化治療に関する研究	国立大学法人名古屋大学	早川 文彦
「頭頸部表在癌全国登録調査」に基づいた頭頸部表在癌に対する診断・治療法の開発に関する研究	国立研究開発法人国立がん研究センター	林 隆一
小児脳腫瘍に対する多施設共同研究による治療開発	地方独立行政法人大阪市民病院機構 大阪市立	原 純一
小児胎児性固形がんに対する標準的治療法開発	国立大学法人広島大学	檜山 英三
急性型およびリンパ腫型成人T細胞白血病に対する標準治療としての同種造血幹細胞移植法の確立	国立研究開発法人国立がん研究センター	福田 隆浩
切除不能肺癌に対する標準治療の確立に関する研究	学校法人杏林学園 杏林大学	古瀬 純司
小児およびAYA世代の横紋筋肉腫およびユウイング肉腫患者に対するリスク層別化臨床試験実施による標準的治療法の開発	京都府公立大学法人 京都府立医科大学	細井 創
進行上顎洞癌に対する超選択的動注化学療法を併用した放射線治療による新規治療法開発に関する研究	国立大学法人北海道大学	本間 明宏
高齢者の切除不能な進行・再発胃癌に対する機能評価と前向きな化学療法後の臨床情報が紐づけされたデータセットの作成を通じて標準治療を開発する多施設共同臨床研究	独立行政法人地域医療機能推進機構 九州病院	牧山 明資
小児急性リンパ性白血病に対する標準的治療法の確立	学校法人聖路加国際大学	真部 淳
高齢者多発性骨髄腫患者に対する至適な分子標的療法と高齢者評価ツールの確立および治療効果と毒性に関するバイオマーカーの探索的研究	国立研究開発法人国立がん研究センター	丸山 大
乳児期発症の急性リンパ性白血病に対する国際共同第III相臨床試験に向けた多施設共同パイロット第II相臨床試験の作成研究	国立大学法人大阪大学	宮村 能子
「一過性骨髄異常増殖症(TAM)に対する化学療法および白血病発症予防法の確立を目指した第2相臨床試験」開発を目指した臨床試験立案研究	国立大学法人名古屋大学	村松 秀城
消化器神経内分泌癌に対する標準治療の確立に関する研究	国立研究開発法人国立がん研究センター	森実 千種
進行・再発子宮頸癌の予後向上を目指した集学的治療の開発	国立大学法人東北大学	八重樫 伸生
HPV関連中咽頭癌の治療最適化に関する研究	学校法人近畿大学	家根 旦有
びまん性大細胞型B細胞リンパ腫の新規難治性病型に対する治療研究	国立大学法人三重大学	山口 素子
「新規診断小児急性前骨髄球性白血病における化学療法剤減量を目指した第2相国際共同臨床試験」開発のための臨床試験立案研究	東京都立小児総合医療センター	湯坐 有希
病理学的Stage II/IIIで“vulnerable”な80歳以上の高齢者胃癌に対する開始量を減量したS-1術後補助化学療法に関するランダム化比較第III相試験	国立大学法人岐阜大学	吉田 和弘
サポート機関		
革新的がん医療実用化研究事業の戦略的サポートを行う機関の構築と運営	国立研究開発法人国立がん研究センター	吉田 輝彦
医と食をつなげる新規メカニズムの解明と病態制御法の開発		
腸内細菌由来新規大腸発がんリスク因子を制御する食事要因の解明	静岡県公立大学法人静岡県立大学	渡辺 賢二